

筆頭著者	共同著者	演題名	雑誌名	巻	号	巻号	始頁	終頁	頁	発行月	発行日	発行年
小林省吾	土岐祐一郎、江口英利	術後急変を予知するための毎日の回診のポイント	臨床外科	78	7	78(7):	781	785	781-785	7	20	2023
黒川幸典	西塔拓郎、山本和義、高橋剛、江口英利、土岐祐一郎	胃癌の術前補助療法の現状－欧米との比較	外科	85	10	85(10)	1095	1100	1095-1100			2023
黒川幸典	西塔拓郎、高橋剛、山本和義、江口英利、土岐祐一郎	食道胃接合部癌に対する至適リンパ節郭清	手術	77	6	77(6)	763	766	763-766			2023
富丸慶人	伊藤壽記、剣持 敬(日本臓・臓移植学会 臓移植班 臓移植症例登録委員会 事務局)	本邦臓移植症例登録報告(2023)	移植	58	3	58(3):	227	233	227-233			2023
田中 晃司		FOCUS「食道癌取扱い規約第12版」改訂のポイント(解説)	臨床外科	78	7	78(7)	874	882	874-882			2023
荻野燕之	土岐祐一郎	癌を合併した潰瘍性大腸炎の治療について	消化器外科	46		46	1239	1243				2023
山田大作	小林省吾、高橋秀典、佐々木一樹、岩上佳史、富丸慶人、野田剛広、土岐祐一郎、江口英利	臓OT値を用いたIPMN併存臓癌発生の予測	消化器外科	46	12	46(12):	1305	1314	1305-1314	12	10	2023
関戸悠紀	水島恒和	デデュグルチド	消化器病サイエンス	7	1	7(1)	40	41	40-41	3	1	2023
小山啓介	岩上佳史、小林省吾、佐々木一樹、山田大作、富丸慶人、野田剛広、高橋秀典、江口英利	臓・胆管合流異常に対する肝外胆管切除・肝管空腸吻合術後におけるウルソデオキシル酸内服と晚期合併症の発生に関する検討	胆臓の病態生理	39	1	39(1):	17	20	17-20	6		2023
原田宗一郎	太田博文、宗方幸二、池嶋遼	S状結腸憩室炎による膿瘍が子宮広間膜を穿通した結腸膀胱瘻の1例	日本臨床外科学会	84	5	84(5):	791	794	791-794	5	25	2023
水野真夏	奈谷友香子、吉岡慎一、藤田淳也、田村茂行、佐々木洋	腹腔鏡下に切除した妊婦虫垂炎の7例	日本臨床外科学会雑誌	84	9	84(9):	104	110	104-110	9	25	2023
水野真夏	大澤日出樹、奈谷友香子、吉岡慎一、野村知礼、深田晃生、中野大哉、谷口嘉毅、飛鳥井慶、岸本朋也、川田純司、藤田淳也、田村茂行、佐々木洋	術前化学療法が奏効し膀胱温存が可能となった直腸膀胱瘻を伴う直腸S状部癌の1例	癌と化学療法	50	13	50(13):	1439	1500	1439-1500	12		2023
中本蓮之助	出村公一、乾元晴、光藤傑、村上剛平、野中亮児、井出義人、森本脩邦、畑中信良、西田俊朗	鏡視下胃内手術にて切除し得た食道胃接合部胃粘膜下腫瘍の1例	癌と化学療法	50	4	50(4)	490	492	490-492	4		2023
中本蓮之助	出村公一、井出義人、乾元晴、光藤傑、村上剛平、野中亮児、森本脩邦、岩崎輝夫、畑中信良、西田俊朗	直腸癌手術における一時的回腸ストーマ後の腎機能障害	STOMA WOUND & CONTINENCE	29	1	29(1)	1	4	1-4	2		2023
辻嘉斗	西沢佑次郎、大里祐樹、井上彬、賀川義規	虫垂炎に対する単孔式アプローチ法と85例の検討	日本大腸肛門病学会雑誌	77	3							2023
梅津匡宏	酒井健司、後藤邦仁、平尾素宏	切除不能の直腸癌肝転移に対して化学療法が奏功し根治切除を施行し得た一例	癌と化学療法誌	50			1789	1791		12		2023
伊藤泰平	剣持 敬、後藤 了一、渡辺 正明、武富 紹信、嶋村 剛、平光 高久、嶋海 俊治、富丸慶人、小林 省吾、江口 英利、大島 稔、岡野 圭一、中川 健、江川 裕人	臓移植後の抗体関連型拒絶反応治療に免疫グロブリン静注療法(intravenous immunoglobulin; IVIG)を使用した症例の調査研究－本邦臓移植後IVIG4症例の報告－	移植	58	3	58(3):	273	280	273-280			2023
植村守		超音波凝固切開装置による腹腔鏡下大腸癌手術	臨床外科	78	7	78(7)	870	873	870-873	7		2023
植村守		局所進行・再発直腸癌に対する低侵襲手術	外科	85	3	85(3)	268	277	268-277	3		2023
植村守		骨盤内臓全摘術のオベ記事	臨床外科	78	13	78(13)	1508	1512	1508-1512	12	20	2023